

第21回社会福祉士国家試験の合格基準及び正答について

1 合格基準

次の2つの条件を満たした者を合格者とする。

- (1) ア 総得点150点に対し、得点85点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

イ 試験科目の一部免除を受けた受験者

（社会福祉士及び介護福祉士法施行規則第5条の2）

総得点70点に対し、得点46点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

- (2) (1) のア又はイを満たした者のうち、(1) のアに該当する者にあつては、試験科目（ただし、社会福祉援助技術については、「一問一答問題」と「事例問題」をそれぞれ別個の試験科目とみなす。）14科目（(1) のイに該当する者にあつては、6科目。）の各科目すべてにおいて得点があつた者。

2 正答

【社会福祉士・精神保健福祉士共通科目】

社会福祉原論

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答	4	5	3	2	2	1	4	5	4	3

社会保障論

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答	4	3	4	4	5	3	2	5	2	3

公的扶助論

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正答	2	3	3	5	2	1	4	2	4	5

地域福祉論

問題番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答	2	5	3	4	1	5	4	1	3	2

心理学

問題番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答	3	2	5	2	1	4	1	1	4	3

社会学

問題番号	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
正答	4	2	5	5	2	4	1	3	4	1

法学

問題番号	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
正 答	1	3	3	5	5	3	4	3	1	2

医学一般

問題番号	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
正 答	3	2	3	4	3	4	1	4	5	5

【専門科目】

老人福祉論

問題番号	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
正 答	5	3	2	5	4	3	4	2	1	3

障害者福祉論

問題番号	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
正 答	2	2	4	5	2	2	2	3	1	1

児童福祉論

問題番号	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
正 答	1	1	2	4	5	3	5	3	4	5

社会福祉援助技術（一問一答問題）

問題番号	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122
正 答	2	4	1	5	5	3	2	2	3	3	5	2

社会福祉援助技術（事例問題）

問題番号	123	124	125	126	127	128	129	130	131
正 答	3	4	4	4	5	4	1	3	5
問題番号	132	133	134	135	136	137	138	139	140
正 答	2	1	1	2	2	1	3	4	3

介護概論

問題番号	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150
正 答	4	3	5	1	2	3	5	2	1	3

第 2 1 回介護福祉士国家試験の合格基準及び正答について

1 合格基準

(1) 筆記試験の合格基準

次の2つの条件を満たした者を筆記試験の合格者とする。

ア 総得点120点に対し、得点76点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

イ アを満たした者のうち、以下の「12科目群」すべてにおいて得点があった者。

①社会福祉概論 ②老人福祉論 ③障害者福祉論、リハビリテーション論

④社会福祉援助技術（演習を含む。） ⑤老人・障害者の心理

⑥家政学概論、レクリエーション活動援助法 ⑦医学一般、精神保健

⑧介護概論 ⑨介護技術（一問一答問題） ⑩介護技術（事例問題）

⑪形態別介護技術（一問一答問題） ⑫形態別介護技術（事例問題）

(2) 実技試験の合格基準

筆記試験の合格者のうち、次の条件を満たした者を実技試験の合格者とする。

総得点100点に対し、得点53.33点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、課題の難易度で補正した。）。

2 筆記試験の正答

社会福祉概論

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8
正答	5	2	4	2	5	5	4	4

老人福祉論

問題番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
正答	5	1	4	3	3	4	2	4	4	2

障害者福祉論

問題番号	19	20	21	22
正答	5	3	5	1

リハビリテーション論

問題番号	23	24	25	26
正答	4	1	2	1

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題番号	27	28	29	30	31	32	33	34
正答	1	5	4	5	2	3	2	2

レクリエーション活動援助法

問題番号	35	36	37	38	39	40
正 答	2	5	4	4	2	3

老人・障害者の心理

問題番号	41	42	43	44	45	46	47	48
正 答	1	2	2	4	5	3	4	3

家政学概論

問題番号	49	50	51	52	53	54	55	56
正 答	5	2	1	5	4	3	2	3

医学一般

問題番号	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
正 答	2	2	1	1	5	4	4	3	4	4	1	1

精神保健

問題番号	69	70	71	72
正 答	3	2	2	3

介護概論

問題番号	73	74	75	76	77	78	79	80
正 答	4	3	3	1	2	1	5	1. 2

介護技術（一問一答問題）

問題番号	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91
正 答	4	5	5	3	3	4	3	4	4	5	3

介護技術（事例問題）

問題番号	92	93	94	95	96	97	98	99	100
正 答	2	3	5	1	4	2	3	5	2

形態別介護技術（一問一答問題）

問題番号	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111
正 答	4	1	1	3	5	4	5	4	1	3	5

形態別介護技術（事例問題）

問題番号	112	113	114	115	116	117	118	119	120
正 答	4	5	4	3	5	5	2	2	3

第21回介護福祉士国家試験における正答の取扱いについて

午後 問題80

問題 80 介護従事者の労働安全対策に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 労働安全衛生法では、介護従事者の労働時間を規定している。
- 2 「男女雇用機会均等法」では、職場におけるセクシュアルハラスメント防止義務を規定している。
- 3 「介護労働者法」は、介護関係業務に係る労働力の確保に資するとともに、介護労働者の福祉の増進を図ることを目的としている。
- 4 職場における腰痛予防対策指針では、介護作業での腰痛予防対策を示している。
- 5 労働基準法では、労働条件の最低基準を規定している。

(注) 1 「男女雇用機会均等法」とは、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」のことである。

(注) 2 「介護労働者法」とは、「介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律」のことである。

採点上の取扱い

選択枝1及び2を正答とする。

理由

選択枝1については、労働時間を規定しているのは労働基準法であるので誤りである。

選択枝2については、男女雇用機会均等法では、セクシュアルハラスメント防止のために雇用管理上必要な措置を講じることが事業主に義務づけられているが「セクシュアルハラスメントの防止義務」まで規定していないので不適切である。

選択枝3、4、5については、正しい。

したがって、選択枝1及び2を正答とする。